

湛水土中(カルパー)直播栽培特報 第3号

令和5年6月
富山市農業協同組合
富山農林振センター

～JA富山市米品質向上生産運動展開中～

今年は苗立ちが良好であり、急激に『分けつ』が増加しています。
遅れずに『中干し』を開始するとともに、溝掘りしていないほ場は早急に溝を掘りましょう。

中干し

○中干し…6月上旬～中旬に開始

- ・過剰分けつを抑え茎の充実を図るため、**1m間の茎数が100本程度で、遅れずに開始**しましょう。
※『溝掘り』を実施していないほ場は、すぐに溝を掘りましょう。水の出し入れをスムーズにし、中干しの効果を高めます。
- ・中干しは、土の表面に小さなひび割れができるまで行いましょう。

中干し程度
普通乾田 → 長靴が沈まない程度(3～5日間)の田干し
水はけ悪い田や粘土質田 → 強め(5～7日間)の田干し



中干し頃の直播ほ場の様子

- ・極端に強い中干しは、稲にダメージを与え穂数の減少につながります。
数回に分けて適度に田干しを行いましょう。

○中干し後は、幼穂形成期まで湛水と落水を繰り返す**間断かん水**を行いましょう。

病害虫防除

○いもち病の発生を予防するため、**6月中旬頃まで薬剤を散布**しましょう。

薬剤名	10a 当たり使用量	使用上の注意
オリゼメート1キロ粒剤	1kg	散布後4～5日程度は「湛水状態」を保ち、7日間は落水や掛け流しをしない。

○カメムシの餌となるイネ科雑草が穂をつけないよう、畦畔等の草刈りや除草剤散布を行い、**カメムシ類が発生・増殖しにくい環境づくりに取り組み**ましょう！



雑草防除

※「直播水稻」で登録のある除草剤を使い、使用回数や散布量等、使用基準を遵守しましょう。

○雑草が残った場合は、下表を参考にしながら、草種に応じて除草剤を施用しましょう。

雑草の種類	使用除草剤	10a 当たり使用量	使用時期	本剤使用回数	使用上の注意
広場雑草のみ	バサグラン粒剤	3kg	イネ3葉期～入水50日後まで(収穫 60 日前まで)	1回	落水又は雑草が露出する程度の浅水状態で、晴天日を選んで散布。散布後3～4日間は入水・落水しない。
ノビエのみ	クリンチャー 1キロ粒剤	1.5kg	播種後 25 日～ノビエ4葉期(但し収穫 30 日前まで)	2回以内	散布時には5cm 程度の深水で行い、散布後5日間は湛水状態を保つ。
	クリンチャー EW	100mL (希釈水量: 25～100L)	播種後 10 日～ノビエ5葉期(但し収穫 30 日前まで)	2回以内	ノビエの茎葉部に確実に薬剤が付着するように散布する。展着剤を加用する。
ノビエと広葉雑草	レブラス 1キロ粒剤	1kg	イネ2葉期～ノビエ4葉期(但し、収穫 60 日前まで)	1回	湛水状態で散布し、散布後5日間は湛水状態を保つ。
	クリンチャー バス ME 液剤	1,000mL (希釈水量: 70～100L)	播種後 10 日～ノビエ5葉期(但し収穫 50 日前まで)	2回以内	晴天日を選び、落水状態で雑草茎葉部に薬剤が付着するように散布する。また、3～4日間は入水、落水しない。展着剤は加用しない。
	トドメバス MF 液剤	1,000mL (希釈水量: 100L)	播種後 10 日～ノビエ6葉期(但し、収穫 50 日前まで)	2回以内	落水状態で、晴天が2日以上持続する時を選んで散布する。散布後3～4日間は入水・落水しない。展着剤は加用しない。

★富山市農協ホームページで営農情報の提供を行っています★<http://www.ja-toyamashi.or.jp/jouhou/> で検索！

富山市農協 営農情報 検索

農作業の際は、こまめな水分・塩分補給や適切な休憩など、熱中症対策を徹底しましょう！

水田畦畔等草刈り運動期間 7月1日～7月10日 [一斉草刈日:7月2日(土)～3日(日)]